

問1 Aの著者が説いたことを述べたa～cの文の正誤の組合せとして正しいものを選びなさい。

No. 1

- a 哲学する者が政治権力の座につくか、あるいは権力を有する人々が哲学するのではない。
- b 事物に内在する本質を形相と呼び、素材となる質料に形相が形を与えることによって、個々の事物が形成される。
- c 理性と信仰は調和するかしらないかをめぐって、理性に基づく真理の探究は、神が創造した自然の秩序の探究にほかならない。

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	誤	正
ウ	正	誤	誤
エ	誤	正	誤
オ	誤	誤	正

問2 下線部に関して述べた次の文の（ a ）～（ c ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを選びなさい。

No. 2

Bの考えを説いた（ a ）は、幸福の実現のためには、「情念に支配されない状態」である（ b ）を目指す必要があるとした。彼の、欲望や感情に惑わされず、理性による幸福を追求するこのような考え方は、（ c ）と呼ばれる。

	a	b	c
ア	エピクロス	アパティア	快楽主義
イ	エピクロス	アタラクシア	禁欲主義
ウ	ゼノン	アパティア	快楽主義
エ	ゼノン	アパティア	禁欲主義
オ	ゼノン	アタラクシア	快楽主義

問3 Cの著者が説いたことを述べたa～cの文とそれをあらわす語句の組合せとして正しいものを選びなさい。

No. 3

- a 煩悩の炎の消えた静かな安らぎの境地を理想とする。
- b 人間を含めてあらゆる現象は変化してやまない。
- c いかなる存在もそれ自体として独立に存在するような実体ではない。

	a	b	c
ア	涅槃寂静	諸行無常	無自性
イ	涅槃寂静	求不得苦	諸法無我
ウ	涅槃寂静	諸行無常	諸法無我
エ	梵我一如	求不得苦	無自性
オ	梵我一如	諸行無常	諸法無我

問4 Dの著者が説いたX群の語句について説明した文をY群からそれぞれ選んだとき、組合せとして正しいものを選びなさい。

No. 4

- 【X群】
- a 羞惡の心 b 惻隱の心 c 辞讓の心

- 【Y群】
- I 自分や他人の不善を憎むこと。
- II 他人の不幸を見過ごすことのできないこと。
- III 他人を尊敬する心のこと。

	a	b	c
ア	I	II	III
イ	I	III	II
ウ	II	I	III
エ	III	I	II
オ	III	II	I

第3問 次の文を読み、問1～問4に答えなさい。

【設定】

ここでは、「公共」を学習している高校生のAさんが、少子高齢化に伴う人口減少問題に関心をもち、「私たちは、人口減少社会を見通した持続可能な社会の仕組みづくりにどのように関わることができるか」という問いを立て、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述したこととする。

【学習の展開例】

<Ⅰ（ 1 ）>

Aさんは、「公共」で学習した①少子高齢化に伴う問題、特に人口減少によって引き起こされる問題の解決に向けて何かできることはないかと考えた。そこでAさんは、地域社会の持続可能性に関わる観点から課題を設定することとし、「私たちは、人口減少社会を見通した持続可能な社会の仕組みづくりにどのように関わることができるか」という問いを立てた。

<Ⅱ（ 2 ）>

Aさんは、②公的機関が発表している、課題の探究に役立つと思われる資料を収集し、それらの資料から人口減少に伴う地域や国家・社会の課題に関わる情報を読み取り・分析した。

<Ⅲ（ 3 ）>

Aさんは、「私たちは、人口減少社会を見通した持続可能な社会の仕組みづくりにどのように関わることができるか」という問いについて考察、構想する際、内容の③「A 公共の扉」で学習した「行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方」と「行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方」を対照させることとした。

<Ⅳ（ 4 ）>

Aさんは「構想発表会」で、自身が考察したことを説明し、人口減少社会を見通した持続可能な社会の仕組みづくりの構想を提案した。出席者からは、Aさんの提案した仕組みの妥当性や効果、実現可能性などについての質問や、この政策を実現させるための合意形成の図り方などについてのアドバイスが多く寄せられた。「構想発表会」の終了後、Aさんはこれまでの探究活動の成果をまとめ、レポートを完成させた。

（高等学校学習指導要領解説公民編（平成30年7月）から作成）

問1 （ 1 ）～（ 4 ）に当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを選びなさい。

No.13

- ⑤ 情報の収集と読み取り・分析
- ① 課題の設定
- ③ 課題の探究
- ② 自分の考えの説明、論述

	1	2	3	4
ア	あ	い	う	え
イ	あ	い	え	う
ウ	い	あ	う	え
エ	い	あ	え	う
オ	う	え	い	あ

問2 下線部①に関して述べた文のうち、最も適当なものを選びなさい。

No.14

- ア 日本では、高齢者医療の全てを公的扶助で行っている。
- イ 日本は、高齢社会からさらに進んだ高齢化社会に移行している。
- ウ 日本では、全国民を被保険者とする介護保険が導入されている。
- エ 日本の国民皆保険制度は、現在まで実現していない。
- オ 日本の合計特殊出生率は、過去10年間、2.0を上回っていない。